

執筆者紹介 (掲載順)

- 執筆者 ①職位 (所属)、②専門分野、③主な担当科目、
④教育・研究業績、地域貢献などの紹介
- David Williams ①教授 (観光学部)
②観光社会学、観光英語
③国際観光 (欧州研究)、観光ゼミナール、English for Tourism
④ Asia Pacific Tourism Association (APTA), [Familiarity of Tourist Destinations in Japan Among Foreign Nationals], 2019 Proceedings of 25th Asia Pacific Tourism Association Conference, DaNang, Vietnam. Asia Pacific Association for International Education (APAIE), [Impact of the Disney International Program on Graduate Employment Outcomes], APAIE 2018, Singapore.
- 石谷 昌司 ①准教授 (観光学部)
②教育学 (英語教授法)、ホスピタリティ教育
③英語・日本語科目、ホスピタリティ・サービス、国内・海外研修、インターンシップなど
④英語教授法、宿泊業への人材育成、産学連携インターンシッププログラムの設計および実施など
- 于 航 ①准教授 (観光学部)
②観光地域論、インバウンド
③ウェルネス概論、ウェルネス観光IV (温泉観光学)、地域観光II (日本・千葉・鴨川)、ウェルネス観光II (ヘルス・セラピーツーリズム)、観光地理学、など
④日本温泉地域学会。日本観光研究学会。論文「安房地域におけるインバウンド観光の可能性と問題点」(「城西国際大学紀要」第25巻、第6号、2017年) 論文「外国人目線から見た東北スノーコンテンツ魅力に関する考察」(「城西国際大学紀要」第26巻、第6号、2018年) など
- 岩本 英和 ①助教 (観光学部)
②観光政策、MICE
③「Introduction to Tourism,」「イベント・コンベンション」など
④日本観光研究学会。論文「Extraction of know-how for attracting international conventions from a questionnaire survey of experienced person」(『Journal of Global Tourism Research』第3巻、第2号、2018年) など

- 黒澤 武邦
- ①准教授（国際アドミニストレーション研究科）
 - ②都市計画、政策形成プロセス、観光まちづくり
 - ③「政策研究（都市・地域）」「観光研究（観光地域開発）」など
 - ④東京都の大学連携プロジェクト・観光経営人材育成事業「外国人材との連携を見据えた高度観光経営人材の育成を目的とする教育プログラムの開発」（2019年－2021年度）など
- 鈴木 崇弘
- ①教授（国際アドミニストレーション研究科）
 - ②公共政策、政治
 - ③「政策研究Ⅰ（公共）」、「政策研究Ⅱ（法・行政）」、「事例研究Ⅰ（政策形成ワークショップ）」、「事例研究Ⅲ（非営利組織・企業マネジメント）」など。
 - ④元厚生労働省総合政策参与及び元国会事故調査委員会事務局長付。大阪駅北地区国際コンセプトコンペ優秀賞受賞。教育新聞特任解説委員、Yahoo！ニュースオースター、Forbes Japan オフィシャル・コラムニスト
- 遠藤十亜希
- ①教授（国際アドミニストレーション研究科）
 - ②国際政治学、比較政治学、移民政策
 - ③国際関係、国際協力、アメリカ政治
 - ④“Politics of Japan’s Immigration and Alien Residence Control” in Asian and Pacific Migration Review Vol. 28 (3) 324-352. など
- 中沢信一郎
- ①教授（観光学部）
 - ②建築史
 - ③社会学概論・世界遺産論・世界地誌・観光概論・観光と文化・国際観光Ⅱ（アジア研究）・観光プロジェクトb・海外研修a
 - ④2017年度・秋学期に異動となり、本属を経営情報学部から観光学部とした。観光学部では、主に一年生を対象とした国際教養教育に携わっていて、授業科目「観光文化」・「世界地誌」を日本語のみならず英語で開講し（2017年度）、同様に「観光概論」を加えた（2018年度）。この他、「社会学概論」・「世界遺産概論」・「国際観光Ⅱ（アジア研究）」・「観光プロジェクトb」・「海外研修a」を担当し、「持続可能な開発目標（SDGs）」を紹介した（2018年度）。平和学に立脚した観光学の在り方を探究するために、SDGsの社会的動向に注目している。「令和元年度 安房の国観光まちづくり塾」では、「インバウンド観光に向けてのIT技術の利用（地理情報システム）」の題目で講座を持った。これは、南房総観光連盟・城西国際大学観光学部・安房地域振興事務所を主催としている。

山本 剛

①助教（観光学部）

②観光学

③観光実務基礎、観光プロジェクト a、フィールドワーク基礎演習、観光ビジネス研究（旅行企画）、添乗実務演習、キャリア形成など

④日本観光研究学会。第 33 回日本観光研究学会全国大会研究発表会「旅行形態別に見る旅行者の観光動向に関する研究～千葉県南房総地域を事例に～」(2018) ビジネスクリエイター研究学会。第 9 回ホスピタリティマネジメント研究会「ホスピタリティ価値の視点からとらえる観光客のニーズと観光振興施策とは」(2018) ビジネスクリエイター研究学会第 18 回報告「「訪日外国人の個人旅行需要による地方創生の実現と既存公共交通ネットワーク活用の研究」(2017)」。旅行業・人材紹介業・公共交通（路線バス）業での勤務経験をもとに、「産学共同プロジェクト」を企画・運営する実務家教員であり、2019 年 6 月には、観光庁による「産学連携による観光産業の実務人材確保・育成事業 先進的な実践授業事例」にピックアップされた。2019 年は、「観光プロジェクト a」にて、6 月に東日本旅客鉄道株式会社（JR 東日本）千葉支社とのサイクルトレイン「B.B.BASE」とアニメ「ろんぐらいだあす！」のコラボ企画、10 月には「駅からハイキング」企画、「観光ゼミナール（3 年生）」では、株式会社農協観光との「びわ・かんきつ園援農モニターツアー」の外部客向けテーマ型ツアー企画作成、日産自動車（日産プリンス千葉販売株式会社）との学部祭における「100% 電気自動車リーフ試乗会」、さらに 2019 年 12 月 15 日には、クラブツーリズム株式会社との台風観光復興企画を学年横断プロジェクトとして実施・運営し、参加客より高い満足度を得た。